

「子どもの発熱時に受診できない」「病床不足が深刻」

直ちに

救急医療の維持・充実を

日本共産党



10月4日に開かれた社会保障推進流山市協議会の自治体要請キャラバン。日本共産党市議団4人も参加しました。参加者からの要望を受け、「就学援助制度の対象者拡大は優先課題」と市が回答しました。

「命の危機まで見て見ぬふり」許せません

子どもの発熱で問い合わせしても、どこも断られてしまう…悲痛な声は、医療現場や市保健センターで共有化され、切実な課題となっています。流山市では、人口急増下でも医療は民間丸投げ。そのため人口比の病床数は、県下最低レベルです。日本共産党市議団は、少なくとも救急医療は市の責任を果

コロナ禍、物価高騰のなか…

財政黒字を活かし、生活応援を

流山市の令和4年度一般会計決算は、市議会賛成多数で可決しましたが、日本共産党市議団は以下の理由で反対しました。①コロナ禍と物価高騰が続くなか、決算は3年連続、21億円超の大幅黒字となり、積立ても2年連続、15億円超に。一方、市民生活への支援や福祉の増進は不十分。②市長が肩入れするツーリズム(観光)では、白みりんミュージアム建設に多くの費用が投じられ、さらに、旧割烹新川屋の改修費が5億円もかかることが明らかに。③専門性の高い職員の育成や増員も不十分となり、児童虐待の相談件数は職員一人当たり3300件超となり、深刻です。引き続き、市民のみならずとご一緒に、市政の改革へ全力をあげます。



マイナカード

市民の陳情を否決 日本共産党は賛成

トラブルが相次ぐマイナンバーカード、市民の4人に1人は持っていない。紙の保険証を廃止することに批判が高まっています。市長も「保険証廃止は撤回すべき」と回答(8/4付千葉日報アンケート)。

日本共産党市議団の質問では、導入経費は本市だけで総額10億1千万円にもなり、そのうち市民の血税が5億8千万円も使われていることが発覚。市長も「重い負担」と答弁しました。一方、市議会は紙の保険証存続を求める市民の陳情書を否決。国民の7割が反対している世論に逆行しています。



2023年第3回定例会 星取表

Table with columns for political parties (会派) and members (議員名), and rows for various council resolutions. The table shows voting results (賛成, 反対, 棄権) for each member on each issue.

